

# 中小企業景況調査報告書

( 第104回 )

平成18年 10 ~ 12 月期 実 績  
平成19年 1 ~ 3 月期 見通し

平成19年 1 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

# ・ 調 査 要 領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成18年12月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成18年10～12月期実績及び平成19年1～3月期の見通し

## 2. 調 査 対 象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	45	59	51	75	51	281
中 規 模	16	13	33	19	23	104
合 計	61	70	84	94	74	385
構成比(%)	15.9	18.7	21.8	24.4	19.2	100.0

### (2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 24社、建設業 17社、卸売業 9社、  
小売業 14社、サービス業 23社、合計 87社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

- 業況は依然マイナス水準で推移 -

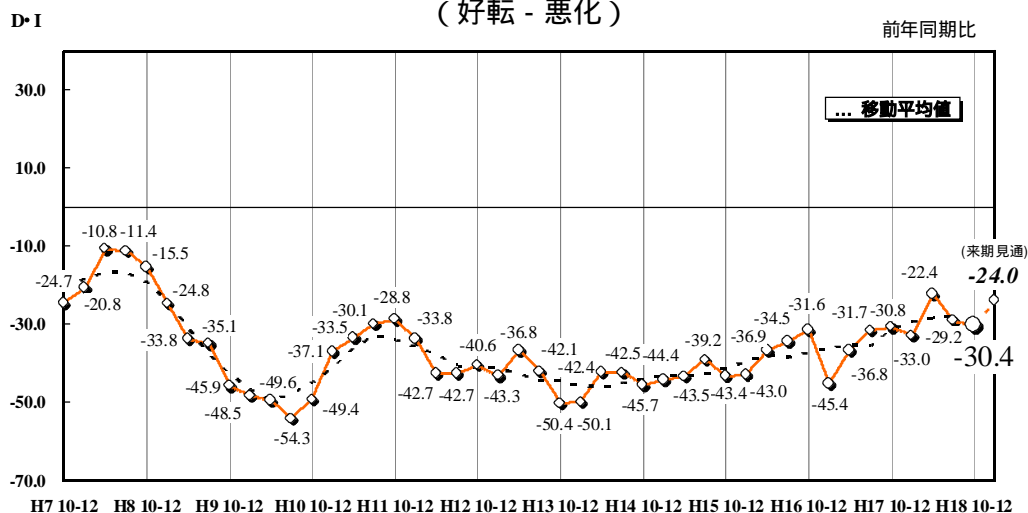
## 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（10月～12月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の業況）では 20.6、前年同期比（平成17年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 30.4と、業況は依然マイナス水準となっている。

業種別では、前年同期比で製造 25.4、建設 27.8、卸売 27.4、小売 34.1、サービス 37.5となっており、サービス業のマイナス幅が最も大きい。

前回の調査（平成18年7月～9月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 14.4 今回 20.6とマイナス幅が拡大しており、また、前年同期比でも前回 29.2 今回 30.4と1.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業況推移（全業種平均D・I）  
（好転 - 悪化）



業界動向調査における企業の声では、製造業からは依然「原油価格高騰の影響に伴う原材料価格の上昇」「製品価格の低下」を訴える企業が多い。また、建設業からは「民間工事・公共工事の減少」などによる売上高の減少や「資材・燃料費の値上がり」による利益率の悪化の声が引き続き寄せられている。

卸売業からは「商品単価の下落」「仕入単価の上昇」による採算悪化の声、また、小売業では「大型店の影響」等による購買力の流出や、「個人消費の低迷」などによる売上の減少、暖冬による冬物商品への影響を訴える声が寄せられている。サービス

業からは、「燃料費の高騰」による経費の増加・採算の悪化や「需要の低下」による売上の減少を訴える声が出ている。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成18年1月～3月期の水準と比較した来期の見通し）では 24.0と、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として各企業が1位に挙げているのは、景気の低迷による「需要の停滞」が全業種で高いウエイトを占めているが、製造業では「原材料価格の上昇」（29.6%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（33.3%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（14.6%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（27.7%）、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」（18.5%）などの問題点が浮上している。

設備投資については、景気の低迷による先行き不透明感などから、依然、慎重な動きが続いている。（今期設備投資を行った企業は全業種平均で15.0%）

## 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 25.4（来期見通し 25.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成18年7月～9月期）時点からの推移では、前回 42.6 今回 25.4と17.2ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「原油価格高騰の影響に伴う原材料価格の上昇」「製品価格の低下」を訴える声がある一方、水産加工では年末年始の需要期による生産の増加、また、鉄鋼業からは引き続き好調持続の声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・原油高騰の影響で原材料単価が上がっているため、売上高の減少とあわせて業況は悪い。（パン・菓子）
- ・原木（丸太）が高騰しているが、製品製材の価格は低迷している。（製材・木製品）
- ・原材料、資材価格の上昇と販売価格の低下により、売上額は減少、採算、業況ともに悪化した。（食料品）
- ・年末商品の身欠きにしんやたらこ等の製造出荷がピークを迎えている。（水産加工）
- ・高操業が続き好調に推移。従業員の高齢化、熟練技術者の確保難、原材料価格の高騰が課題。（鉄鋼業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 27.8（来期見通し 24.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成18年7月～9月期）時点からの推

移では、前回 31.4 今回 27.8と3.6ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「民間工事・公共工事の減少」などによる売上高の減少や「資材・燃料費の値上がり」による利益率の悪化などの声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・公共事業の大幅な減少により業者間の競争が厳しく、また、資材の高騰により収益が急激に悪化している。(建設)
- ・公共工事の減少により大幅に受注が減少し収益は悪化した。民間工事の競争が激しく収益がより一層悪化傾向にある。(一般工事)
- ・地域において民間の新築・改築件数が年々減少しており、さらに他地域からの業者の参入により競争が激化している。資材・燃料費の値上がりにより利幅が薄くなっている。(建設)
- ・受注量はほぼ横這いだが利益がでない。(電気工事)
- ・公共事業の減少に伴い相変わらず厳しい業況にある。(建設)

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 27.4(来期見通 22.5)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成18年7月～9月期)時点からの推移では、前回 16.7 今回 27.4と10.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「商品単価の下落」「仕入単価の上昇」による採算の悪化などを訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・商品単価の下落、同業者間の競争激化、仕入単価上昇により、粗利益率の低下を訴える企業が増加している。(各種卸売)
- ・牛肉BSE、鳥インフルエンザなどの懸念から、水産製品の需要が国際的に増加し、仕入単価が上昇している。売上額は増加しているが、採算、業況は悪化した。  
(水産物)
- ・前年同期と比べて、建築工事はほどほどの件数があり、資材関係の売上高も悪くはない。一方、土木工事の件数は少なく売上高の減少が大きい。また、競争が激しく採算は悪化した。  
(建築資材)
- ・鮮魚の一部が値を上げているが、青果類全般の価格が低迷しており、その結果売上減となっている。(生鮮食品)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 34.1(来期見通 29.0)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成18年7月～9月期)時点からの推移では、前回 30.0 今回 34.1と4.1ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出や、「個人消費の低迷」などによる売上の減少を訴える声や、暖冬による冬物商品

への影響を訴える声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・大型店同士による競争が激しく、地元小売業者の売上が全体的に大きく落ち込み、また、仕入や経費の値上がりなどにより利益が減少している。(小売)
- ・この冬は降雪量も少なく、冬物商品の売れ行きが懸念される。(商店街)
- ・相変わらず個人消費の動きが鈍く業況は厳しい。(小売)
- ・量販セルフ給油所の増加等から販売価格の下落が続いている。また、仕切価格上昇分の販売価格への転嫁が遅れたことから、収益の改善が進まず厳しい経営環境が続いている。(燃料)

#### 【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 37.5(来期見通 18.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成18年7月~9月期)時点からの推移では、前回 25.0 今回 37.5と12.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「燃料費の高騰」による経費の増加・採算の悪化や「需要の低下」による売上の減少を訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・軽油価格の上昇の影響が大きく採算が悪化した。(道路貨物運送)
- ・冬期間は除雪費等で原油高騰の影響が大きい。金利の上昇や、人手不足感によるパート社員の人件費UP等も経費の増加につながる懸念材料となっている。(流通)
- ・ボイラー用の燃料代の上昇、人件費増により採算は悪化した。(ビルメンテナンス)
- ・忘年会シーズンでは、昨年同様、団体客数が減少したことから、売上は減少した。(飲食店)

#### 道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

道内各商工会議所の相談窓口(中小企業相談所)からみた状況については、依然、景気の低迷を反映した、売上の減少、倒産、廃業に関する相談案件が多いが、一部では創業に関する相談や設備資金に関する案件も徐々に増えてきている。

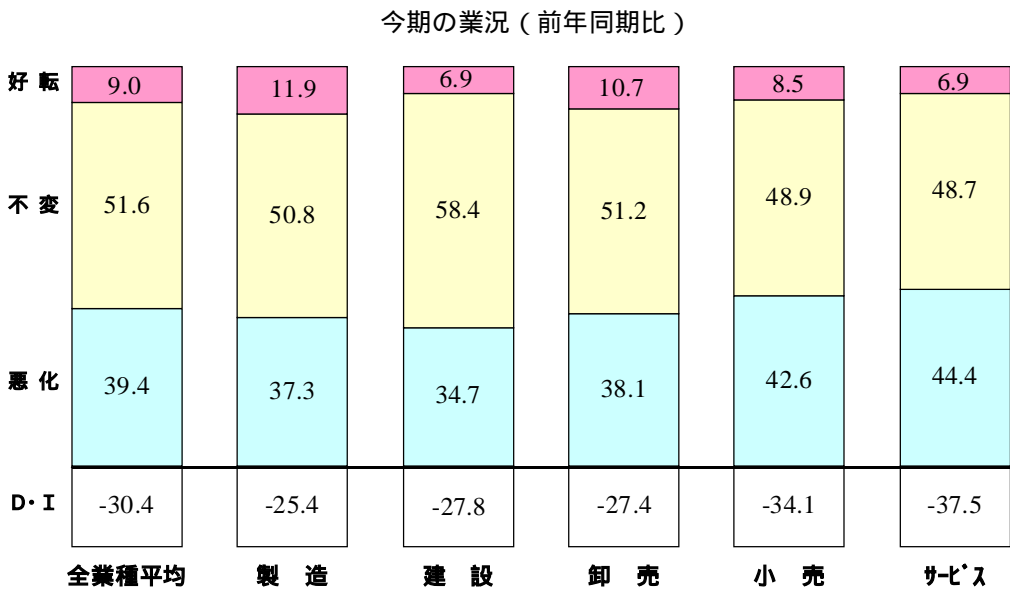
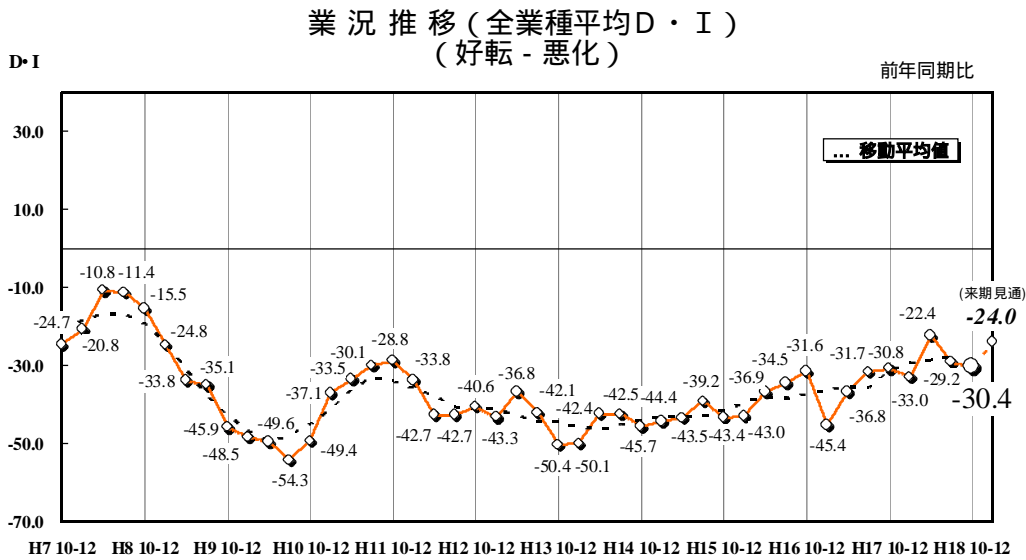
金融斡旋状況では、小規模事業者向けの経営改善資金(マル経資金)は、年度累計では前年同期比で減少しているとの声が多い。景気低迷などによる借り控えが見られる他、民間金融機関などの金融商品の利用等、需要が分散しているとの声も聞かれる。

一方、道の制度資金は、年度累計では前年同期比で増加している地域が見られる。資金の需要増の他、一部の企業では工場、事業所などの施設の新・増設に対応する「産業振興資金」企業立地貸付の大口の取扱いによる、斡旋金額の増加などのコメントが寄せられている。

# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した今期の業況）

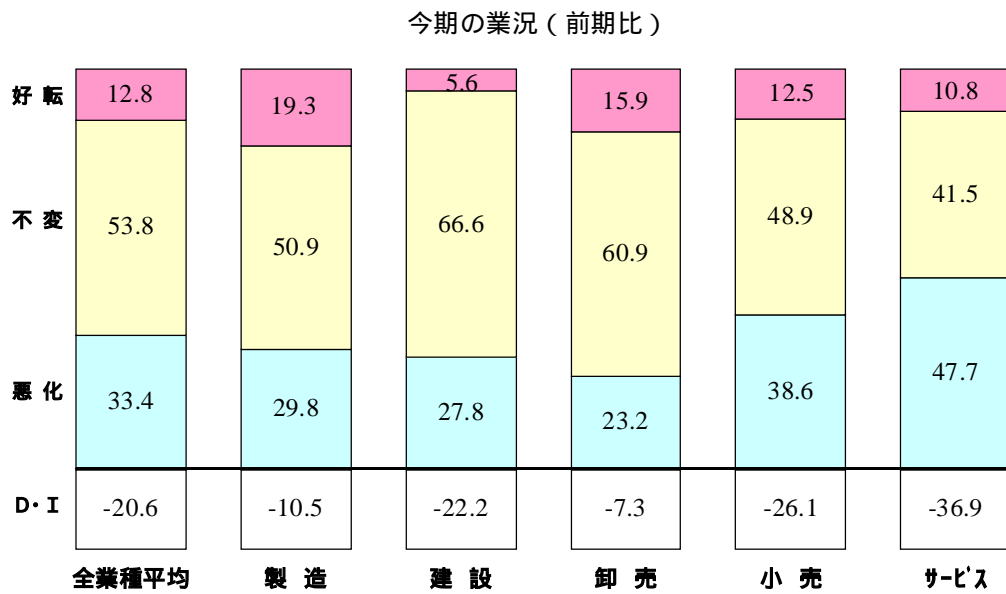


全業種平均でD・I値 30.4〔前回調査時（平成18年7～9月期 29.2）1.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.6 25.4〕、建設〔前回 31.4 27.8〕  
卸売〔前回 16.7 27.4〕、小売〔前回 30.0 34.1〕  
サービス〔前回 25.0 37.5〕



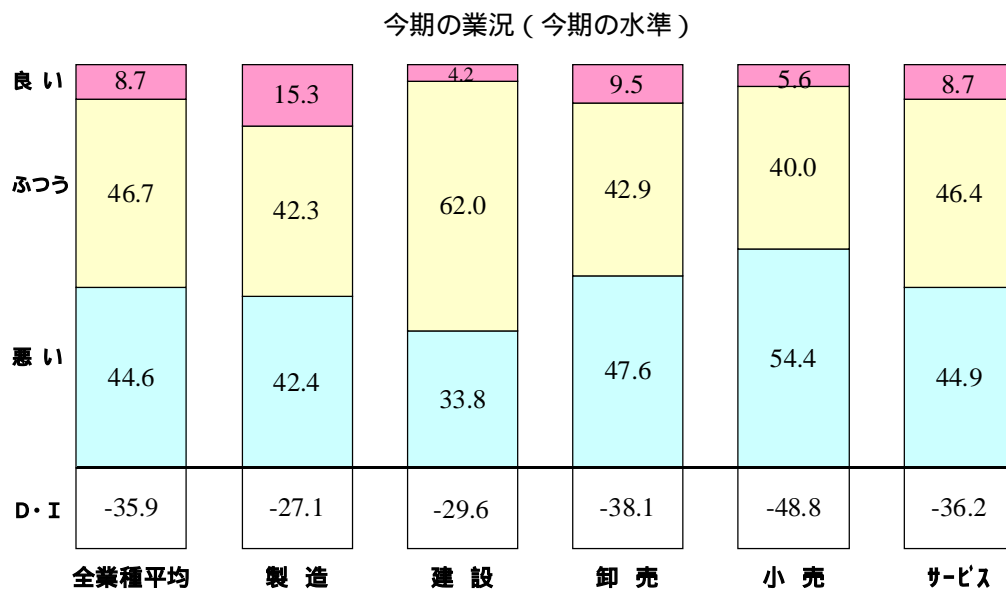
【前期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 20.6〔前回調査時（平成18年7～9月期 14.4）より6.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 20.0 10.5〕、建設〔前回 11.3 22.2〕  
卸売〔前回 1.2 7.3〕、小売〔前回 23.6 26.1〕  
サービス〔前回 15.8 36.9〕

【今期の水準】

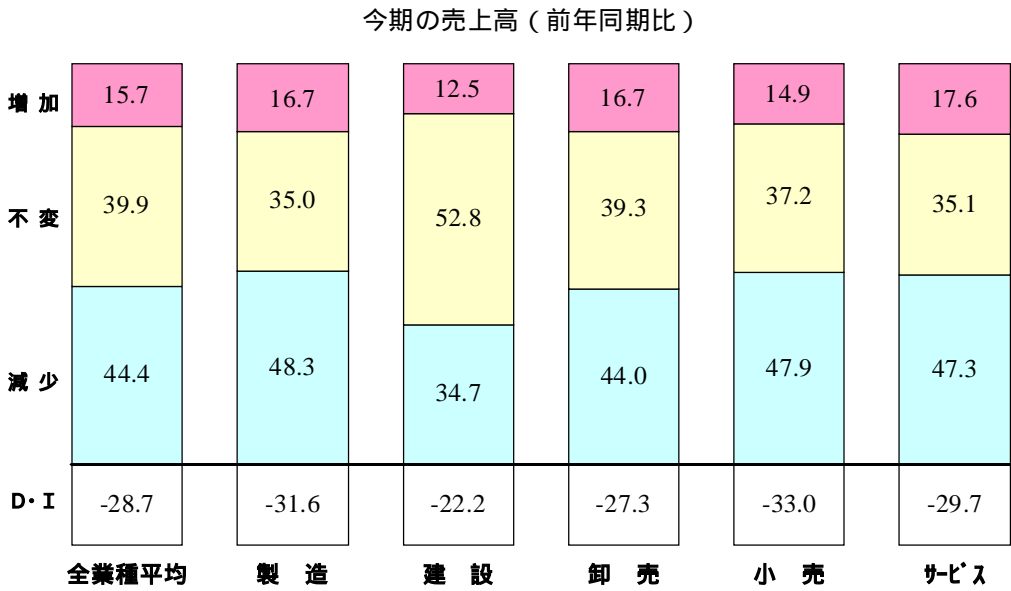
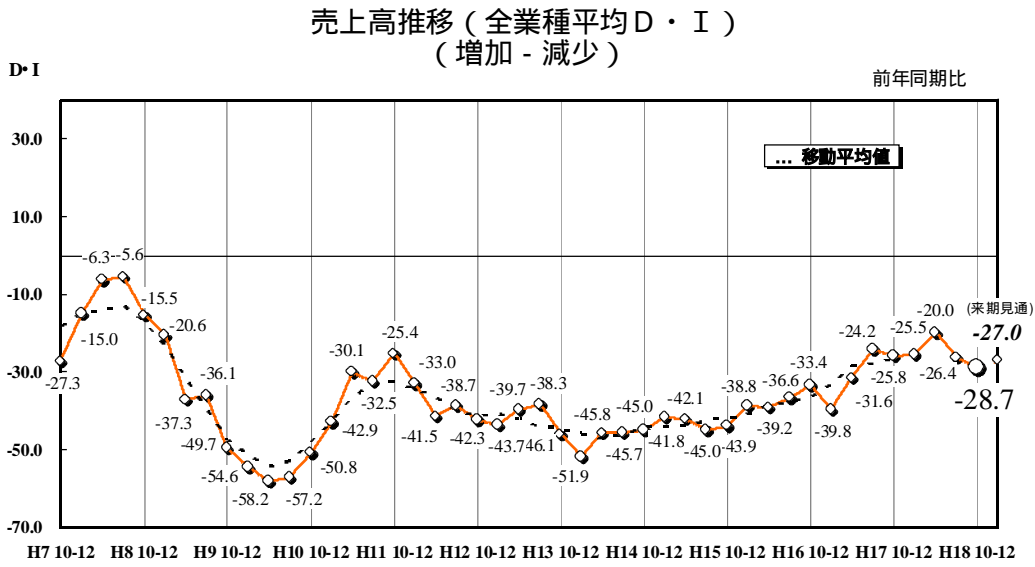


全業種平均でD・I値 35.9〔前回調査時（平成18年7～9月期 40.4）より4.5ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 48.4 27.1〕、建設〔前回 35.7 29.6〕  
卸売〔前回 37.0 38.1〕、小売〔前回 47.7 48.8〕  
サービス〔前回 33.3 36.2〕

(2) 今期の売上高

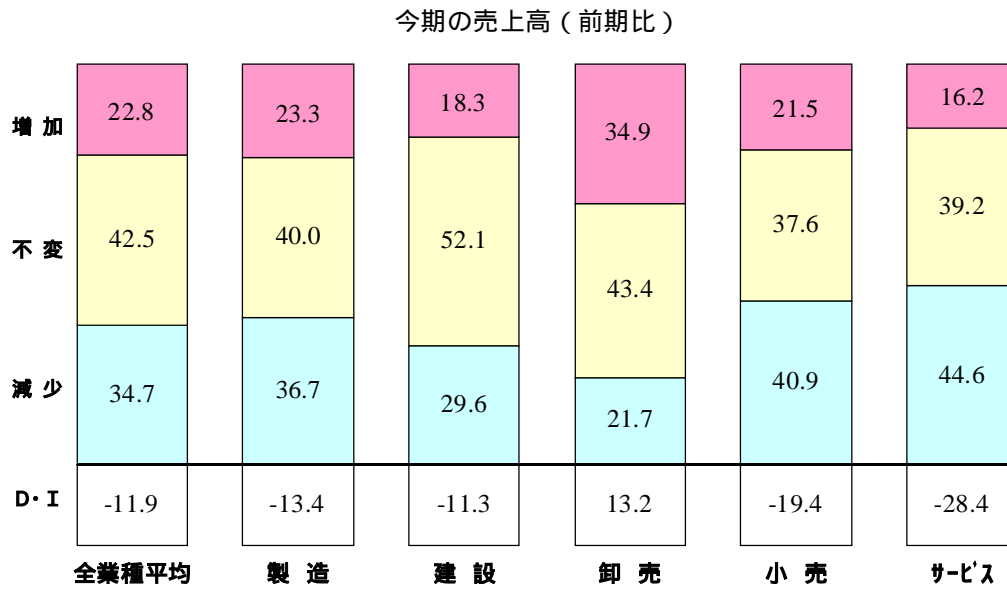
【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）



全業種平均でD・I値 28.7〔前回調査時（平成18年7～9月期 26.4）より2.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 41.9 21.6〕、建設〔前回 21.4 22.2〕  
卸売〔前回 19.8 27.3〕、小売〔前回 29.7 33.0〕  
サービス〔前回 19.5 29.7〕

【前期比】（平成18年7～9月期の水準と比較した今期の売上高）

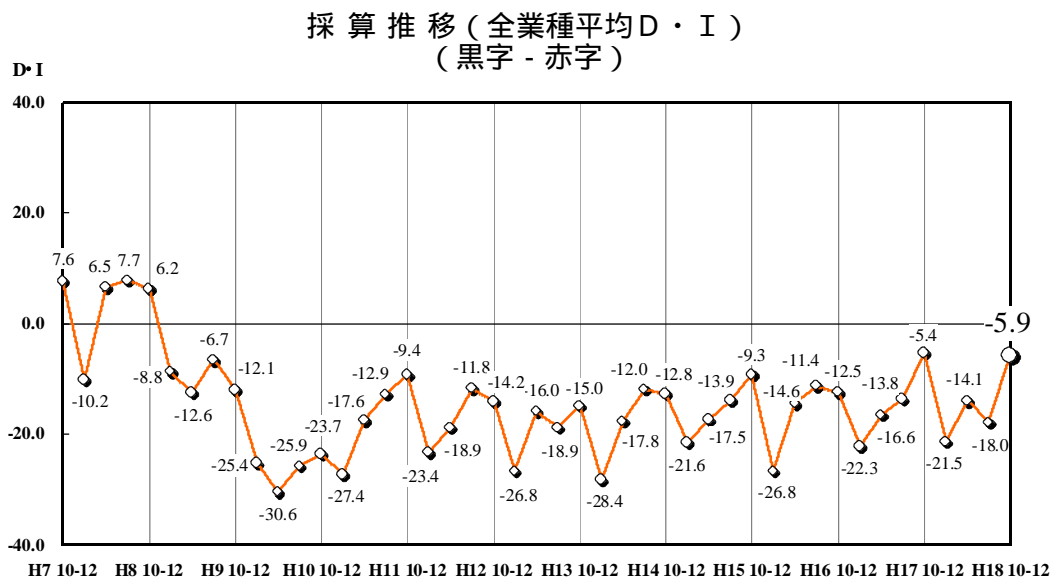


全業種平均でD・I値 11.9〔前回調査時（平成18年7～9月期 8.2）より3.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

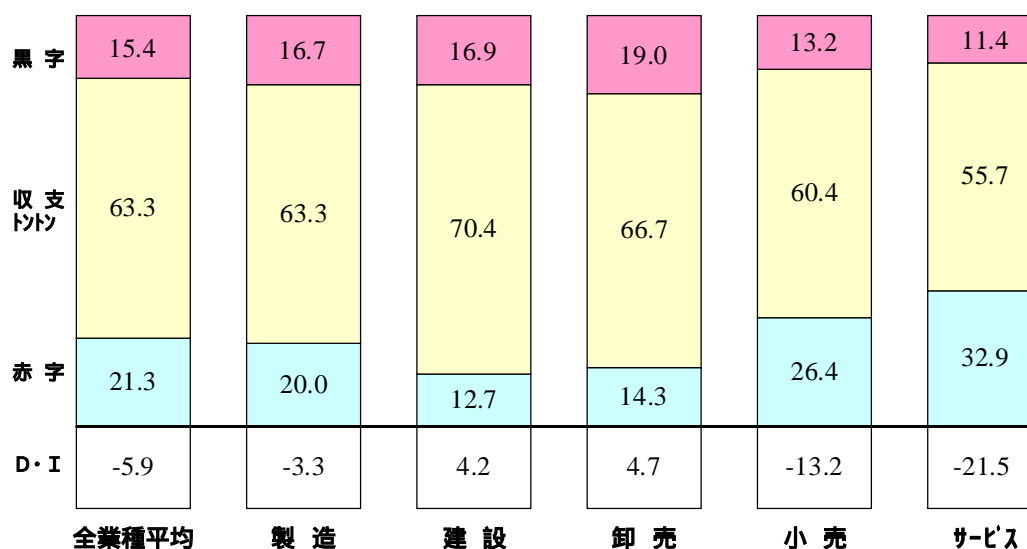
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 16.7 13.4〕、建設〔前回2.8 11.3〕  
卸売〔前回14.7 13.2〕、小売〔前回 28.6 19.4〕  
サービス〔前回 13.0 28.4〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



今期の採算（今期の水準）

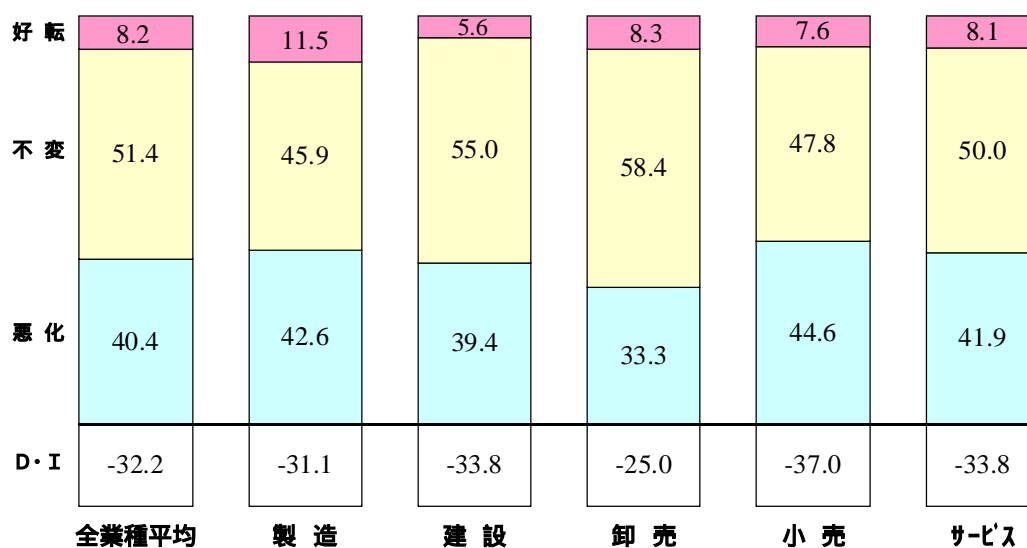


全業種平均でD・I値 5.9〔前回調査時（平成18年7～9月期 13.7）より7.8ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 16.9 3.3〕、建設〔前回 14.3 4.2〕  
卸売〔前回 2.5 4.7〕、小売〔前回 18.9 13.2〕  
サービス〔前回 16.0 21.5〕

【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

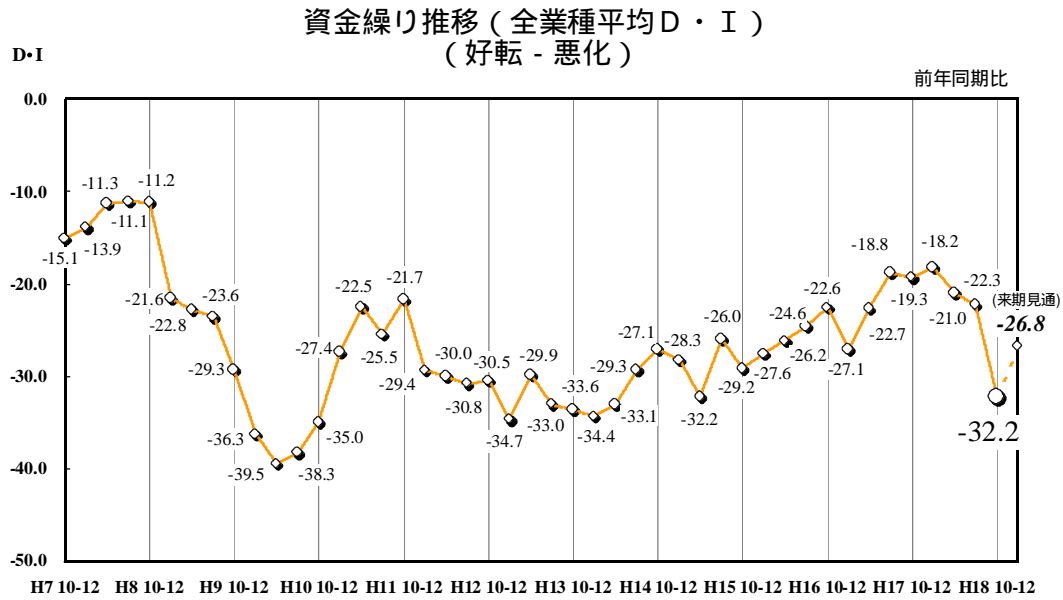


全業種平均でD・I値 32.2〔前回調査時（平成18年7～9月期 33.7）より1.5ポイントマイナス幅が改善〕。

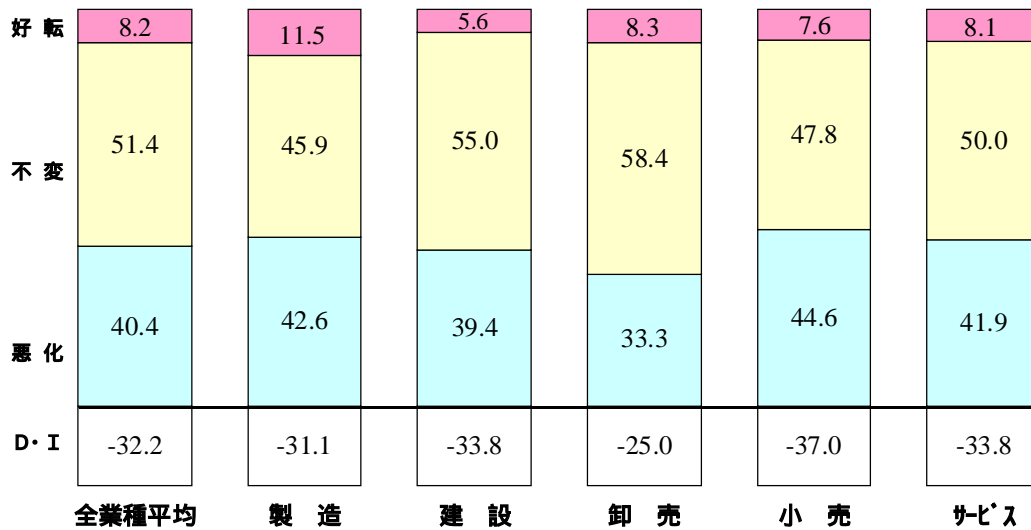
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 43.5 31.1〕、建設〔前回 38.1 33.8〕  
卸売〔前回 27.2 25.0〕、小売〔前回 33.0 37.0〕  
サービス〔前回 26.7 33.8〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成17年10～12月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



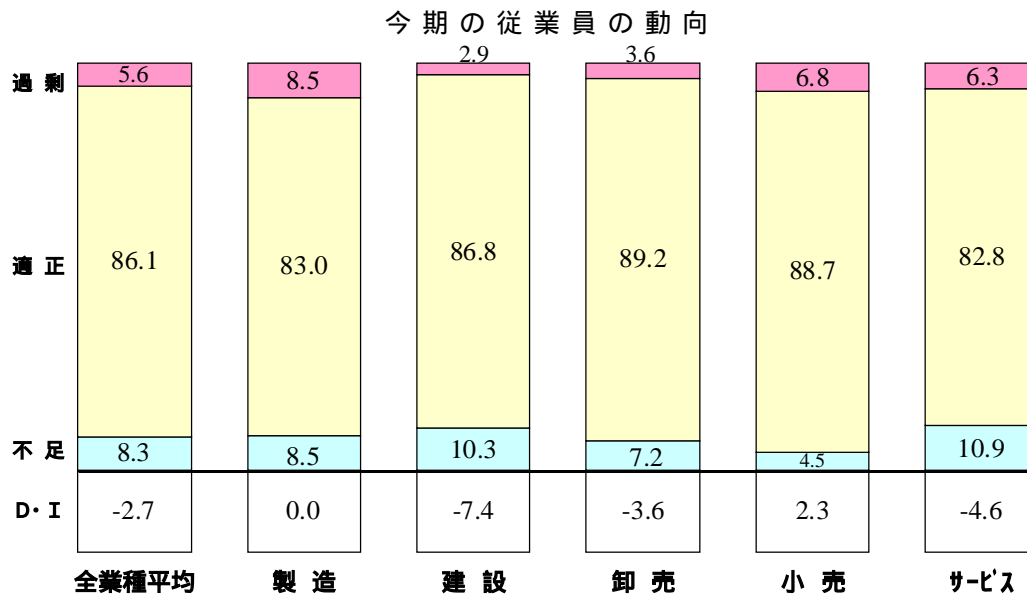
全業種平均でD・I値 32.2〔前回調査時（平成18年7～9月期 21.0）より11.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.6 31.1〕、建設〔前回 19.1 33.8〕  
卸売〔前回 16.5 25.0〕、小売〔前回 11.5 37.0〕  
サービス〔前回 20.8 33.8〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(35.1%) [前回 33.3%]
	「原材料価格の上昇」	(29.6%) [前回 42.5%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(11.1%) [前回 7.4%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(33.3%) [前回 26.2%]
	「官公需要の停滞」	(23.8%) [前回 18.5%]
	「民間需要の停滞」	(15.9%) [前回 20.0%]
卸売業	「需要の停滞」	(43.6%) [前回 46.7%]
	「仕入単価の上昇」	(14.6%) [前回 12.0%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(9.2%) [前回 14.7%]
小売業	「大型・中型店進出競争の激化」	(27.7%) [前回 22.3%]
	「需要の停滞」	(19.8%) [前回 19.8%]
	「購買力の他地域への流出」	(15.1%) [前回 13.8%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(14.0%) [前回 10.0%]
サービス業	「需要の停滞」	(29.1%) [前回 26.2%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(18.5%) [前回 17.5%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(10.8%) [前回 5.8%]
	「熟練従業員の確保難」	(9.2%) [前回 8.7%]

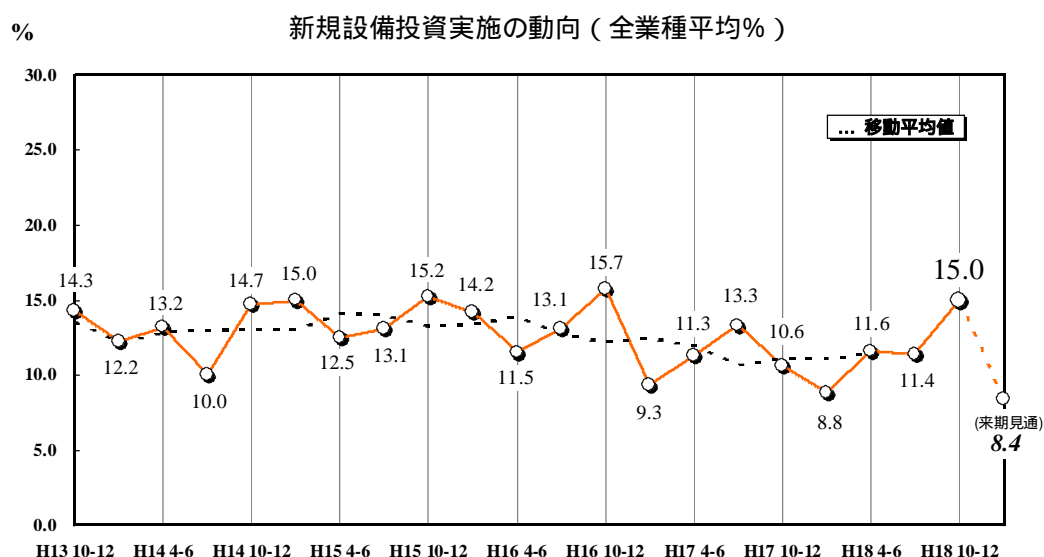
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値 2.7〔前回調査時(平成18年7~9月期 1.7)より1.0ポイントマイナス幅が拡大〕。また、「適正」とする企業が86.1%と大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 8.5 0.0〕(適正83.0%)  
 建設〔前回 2.9 7.4〕(適正86.8%)  
 卸売〔前回 5.2 3.6〕(適正89.2%)  
 小売〔前回 5.9 2.3〕(適正88.7%)  
 サービス〔前回 3.0 4.6〕(適正82.8%)

## (7) 今期の新規設備投資



### 今期の新規設備投資の動向

(単位%)

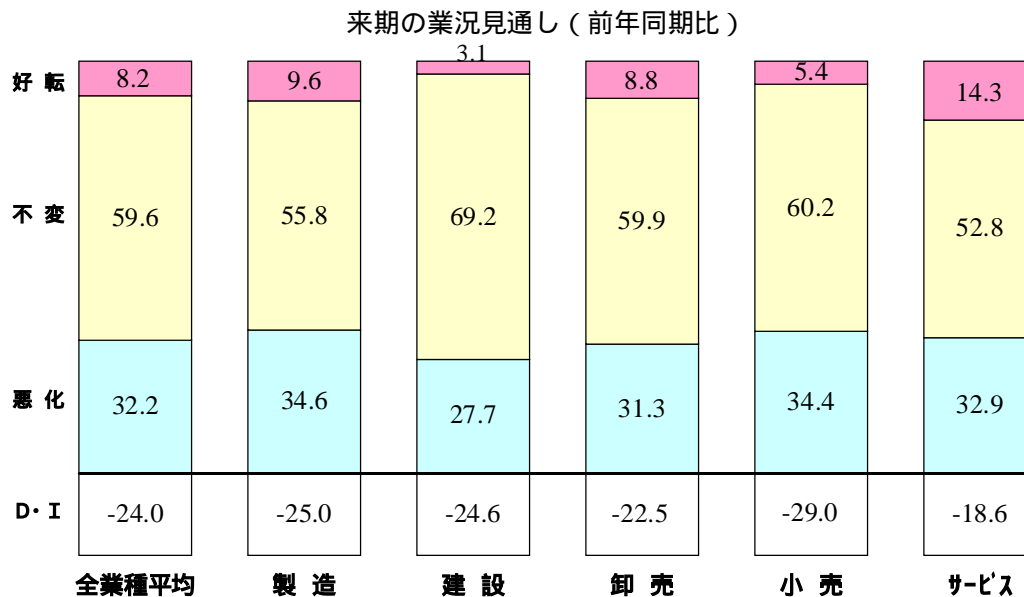
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	27.9	11.1	11.9	6.5	17.6	15.0
土地	0.0	25.0	10.0	0.0	0.0	7.0
工場建物、建物、店舗	0.0	12.5	30.0	16.7	15.4	14.9
生産・販売・サービス設備、建設機械	52.9	0.0	10.0	0.0	15.4	15.7
車両運搬具	17.6	25.0	30.0	33.3	38.5	28.9
倉庫・駐車場等の付帯施設	5.9	12.5	0.0	0.0	23.1	8.3
OA機器	29.4	50.0	40.0	66.7	23.1	41.8
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	12.5	10.0	16.7	7.7	10.6
実施していない	72.1	88.9	88.1	93.5	82.4	85.0

新たに設備投資を実施した企業は平均で**15.0%**〔前回調査時(平成18年7~9月期)11.4%〕より3.6%上昇、業種別では製造〔前回19.4% 27.9%〕、建設〔前回7.1% 11.1%〕、卸売〔前回7.3% 11.9%〕、小売〔前回6.6% 6.5%〕、サービス〔前回16.7% 17.6%〕と、小売を除き前回調査時の水準を上回った。

## 2. 来期の見通し

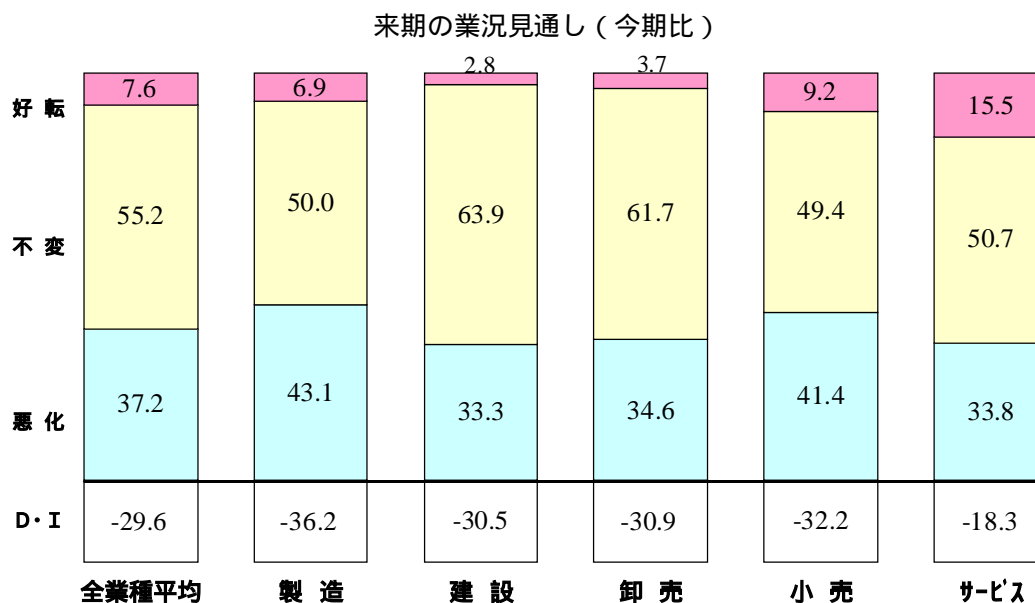
### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 24.0〔今期の業況（前年同期比 30.4）より6.4ポイント改善の見通し〕。

【今期比】（平成18年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

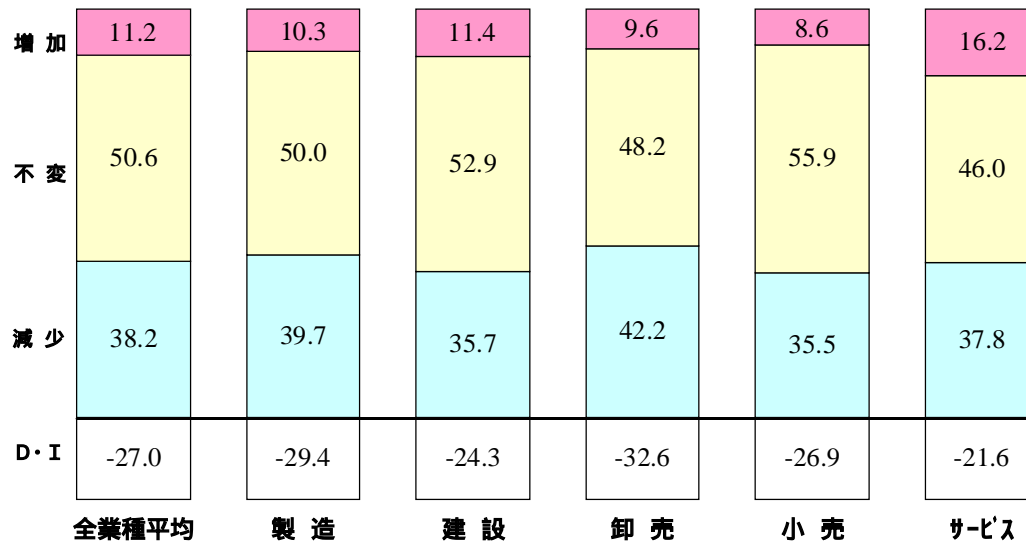




## (2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

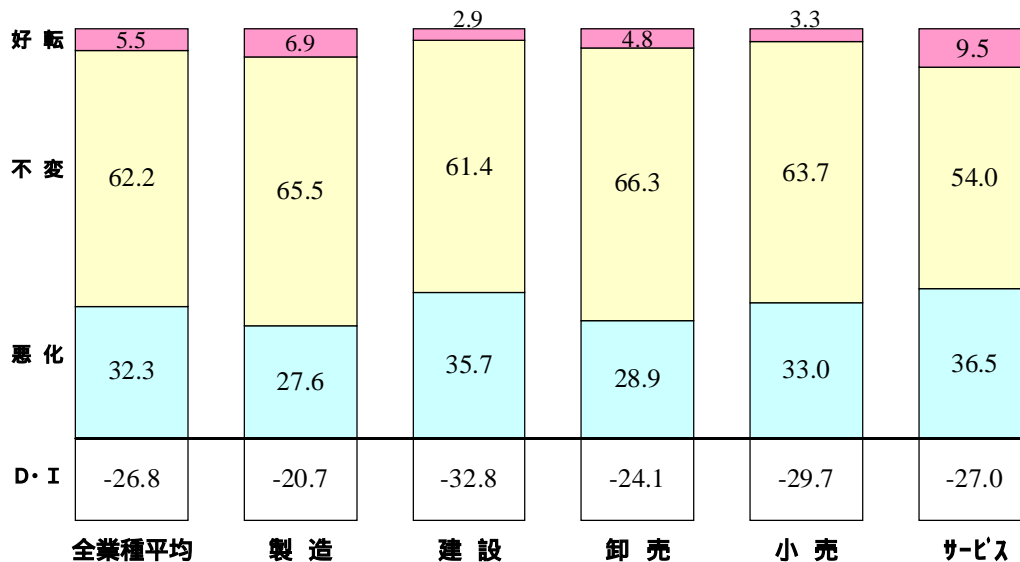


全業種平均でD・I値 27.0〔今期の売上高（前年同期比 28.7）より1.7ポイント改善の見通し〕。

## (3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 26.8〔今期の採算（前年同期比 32.2）より5.4ポイント改善の見通し〕。

## (4) 来期の新規設備投資

### 来期の新規設備投資の動向

(単位%)

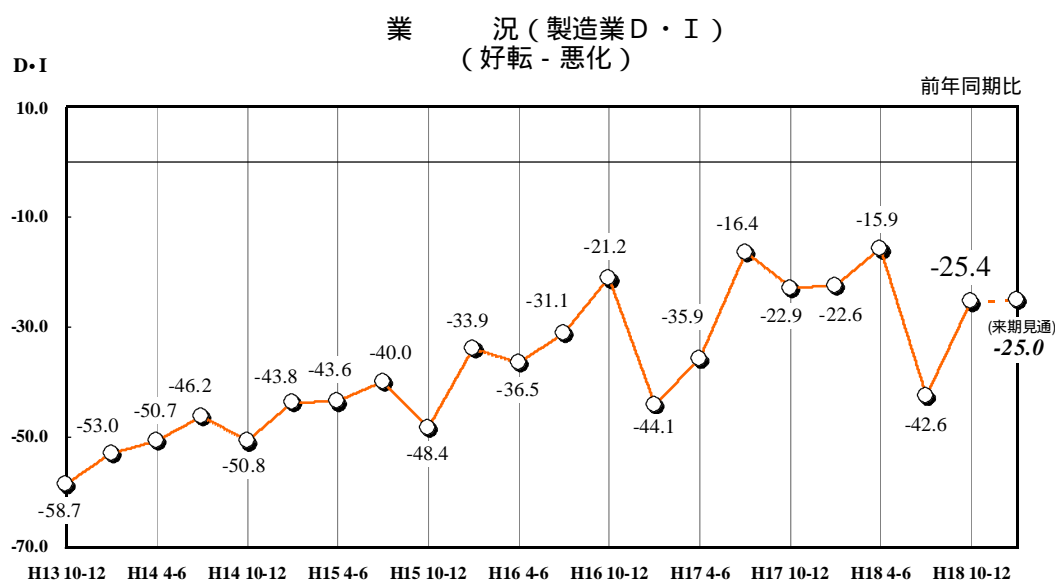
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	8.5	6.9	7.2	8.8	10.8	8.4
土地	20.0	20.0	16.7	0.0	12.5	13.8
工場建物、建物、店舗	60.0	40.0	16.7	0.0	25.0	28.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	7.5
車両運搬具	20.0	20.0	16.7	25.0	50.0	26.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	20.0	0.0	12.5	12.5	13.0
O A 機器	20.0	20.0	50.0	25.0	12.5	25.5
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	33.3	25.0	12.5	14.2
実施しない	91.5	93.1	92.8	91.2	89.2	91.6

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**8.4%**となっており、今期(15.0%)を下回る見通し。

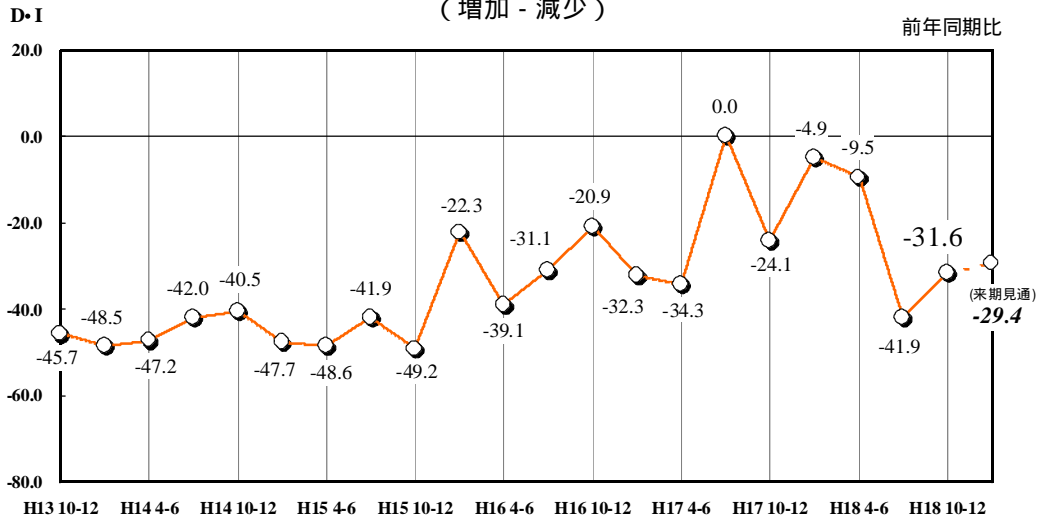
業種別では、製造〔今期27.9% 8.5%〕、建設〔今期11.1% 6.9%〕、卸売〔今期11.9% 7.2%〕、小売〔今期6.5% 8.8%〕、サービス〔今期17.6% 10.8%〕となっている。

## 業種別の動向

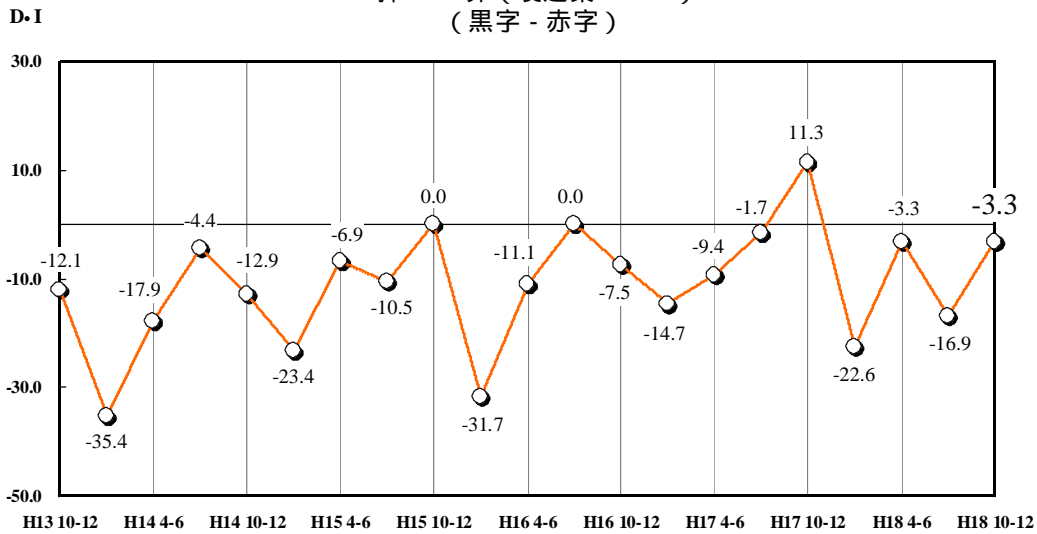
### (1) 製造業



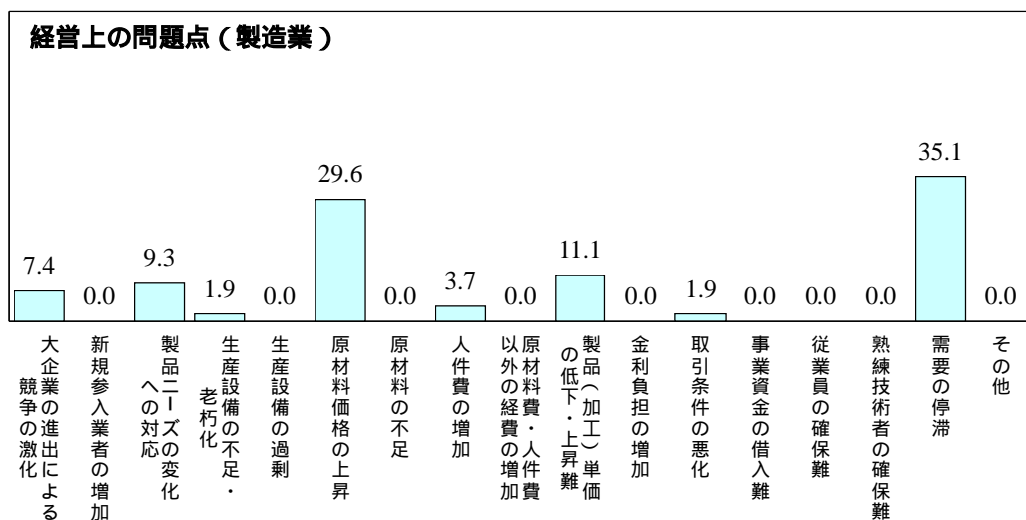
売上高（製造業D・I）  
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）  
（黒字 - 赤字）



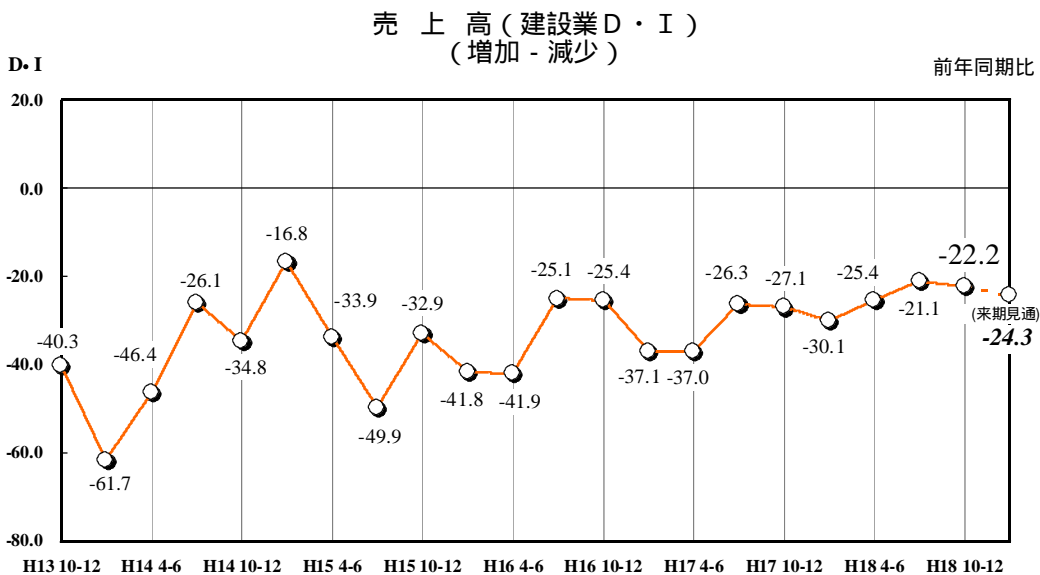
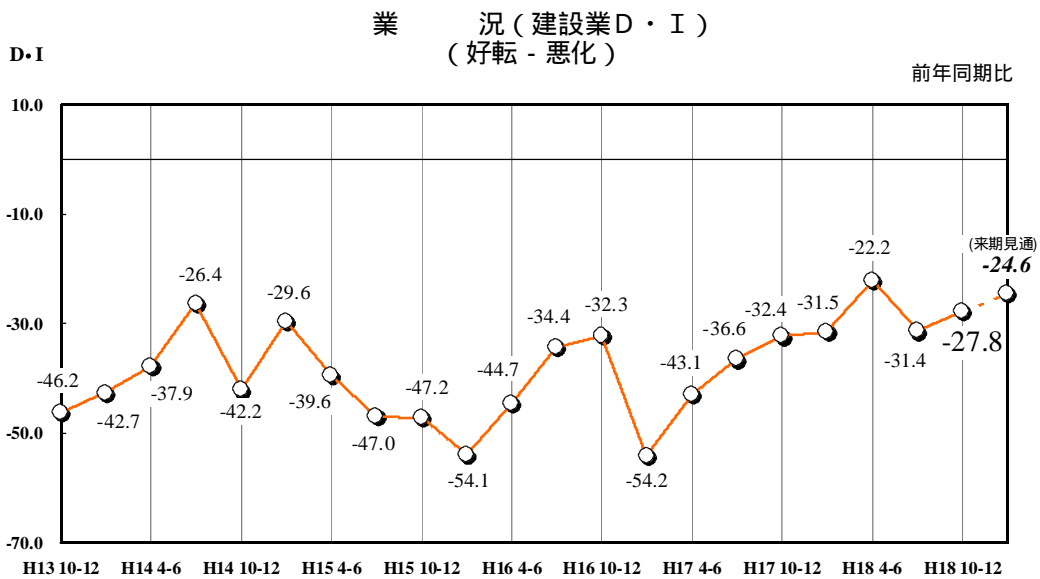
経営上の問題点



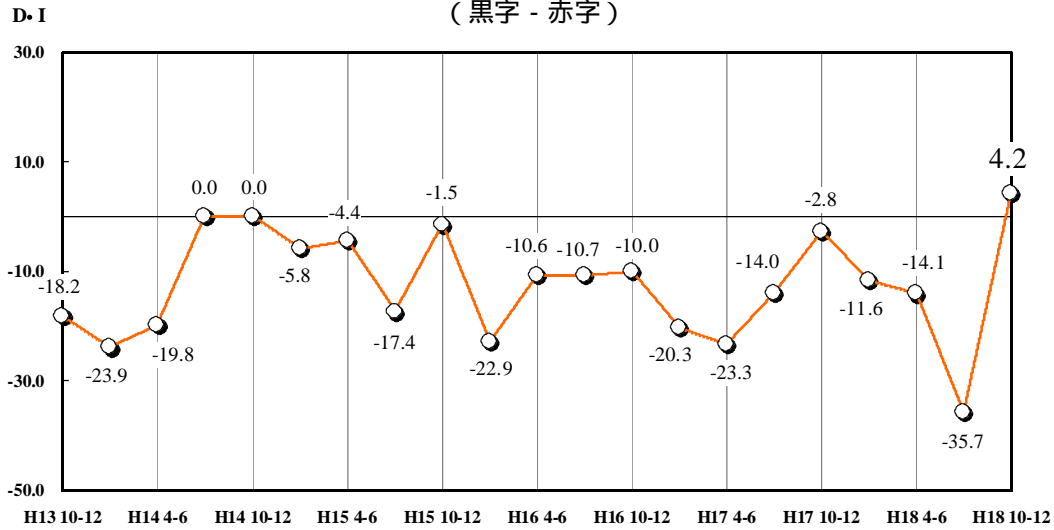
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	30.5	28.4	27.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	10.7	19.3 (今期比)
短期 "	-----	1.8	7.0 (今期比)
設 備 操 業 率	18.6	-----	19.7 (前年同期比)

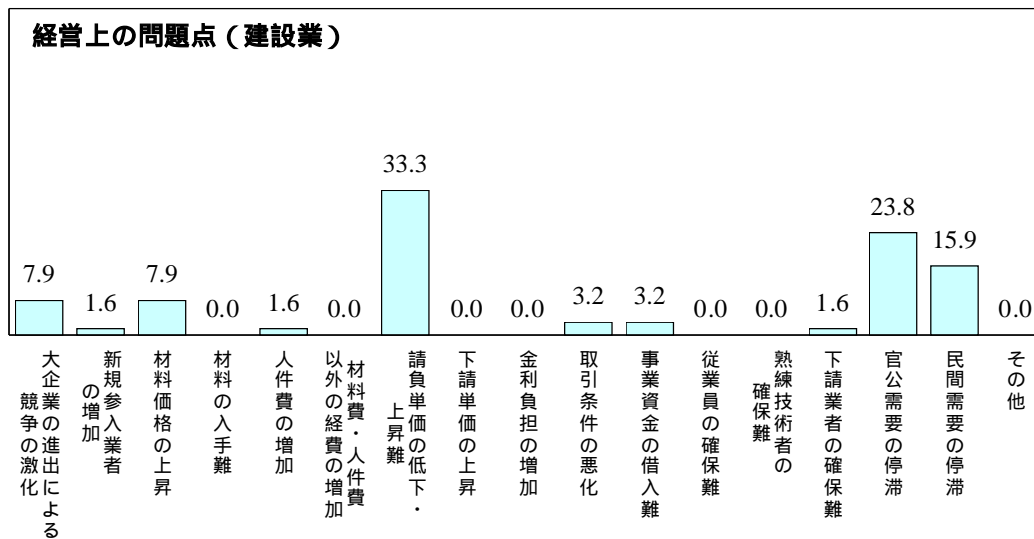
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)  
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点

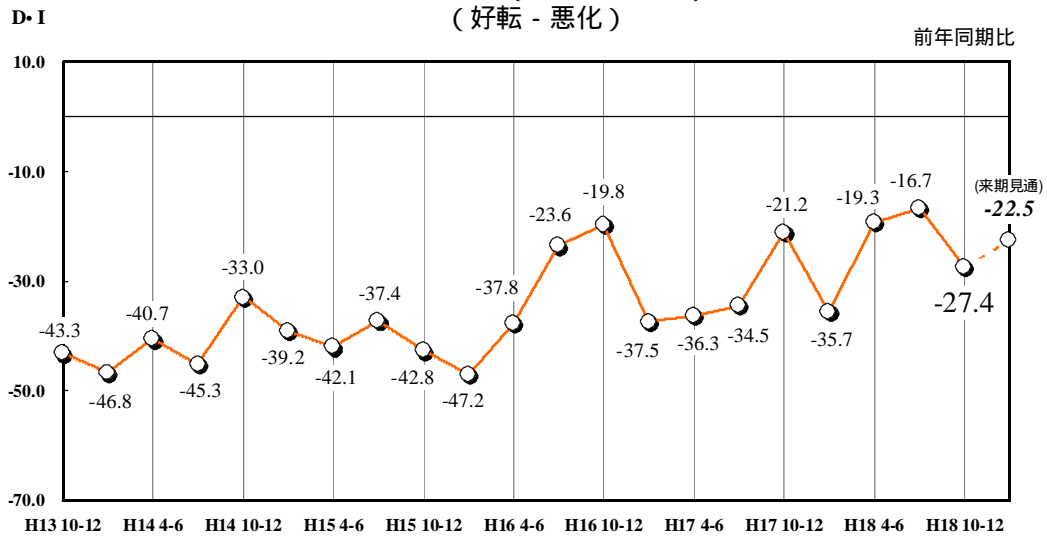


その他 (D・I値)

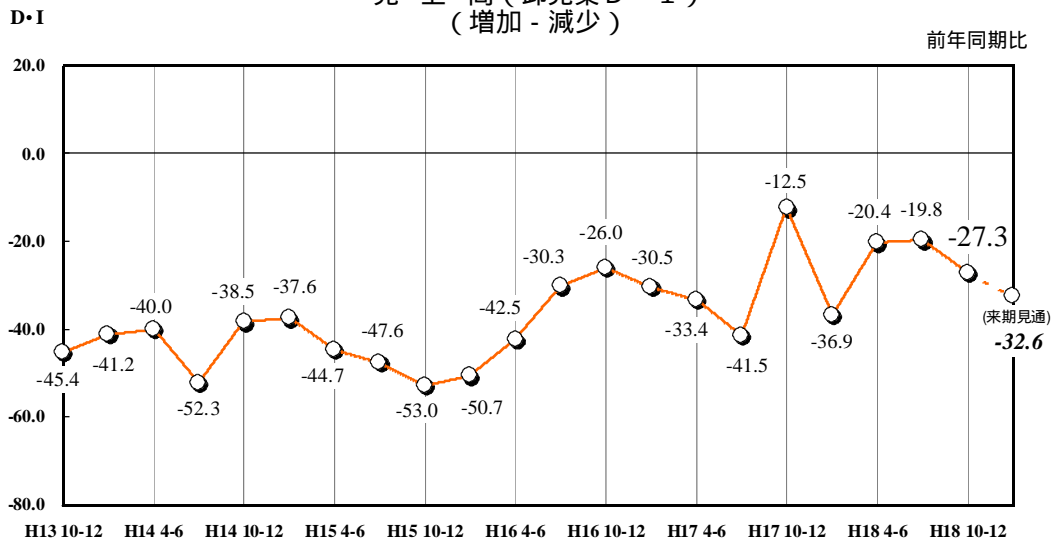
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	12.7	12.8	14.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	2.9	7.4 (今期比)
短期 "	-----	1.5	6.3 (今期比)
受注(新規契約工事)額	29.5	-----	27.1 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業

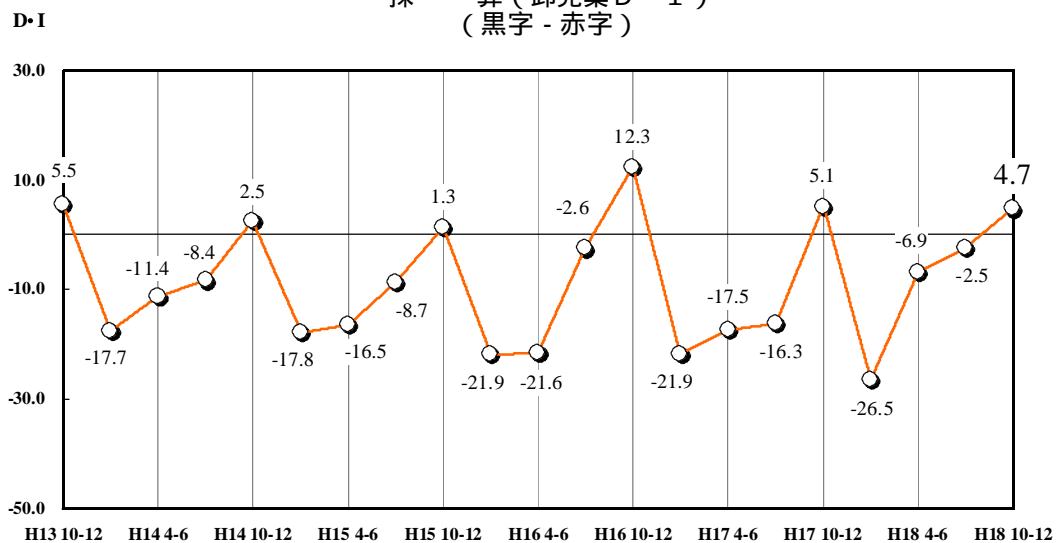
業 況 (卸売業 D・I)  
(好転 - 悪化)



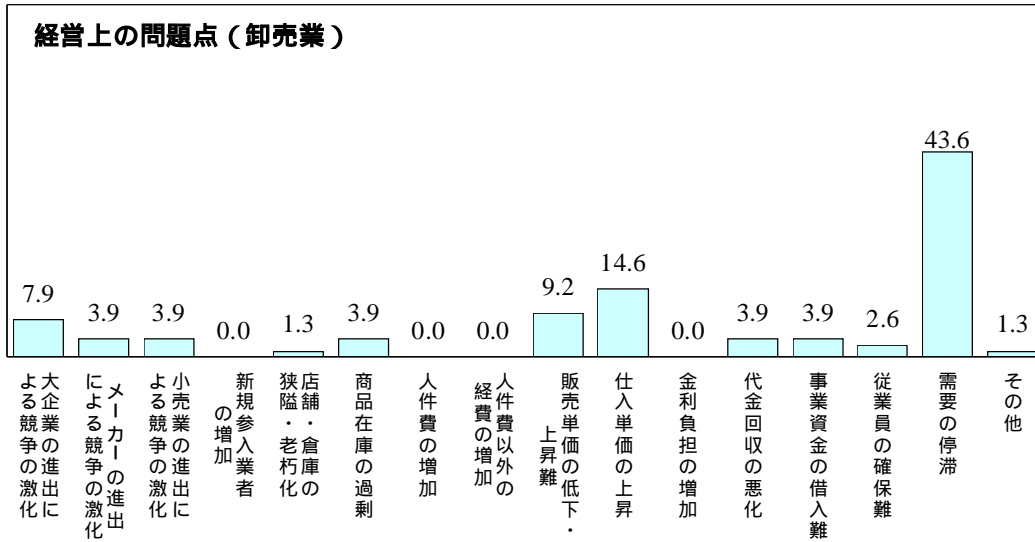
売 上 高 (卸売業 D・I)  
(増加 - 減少)



採 算 (卸売業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



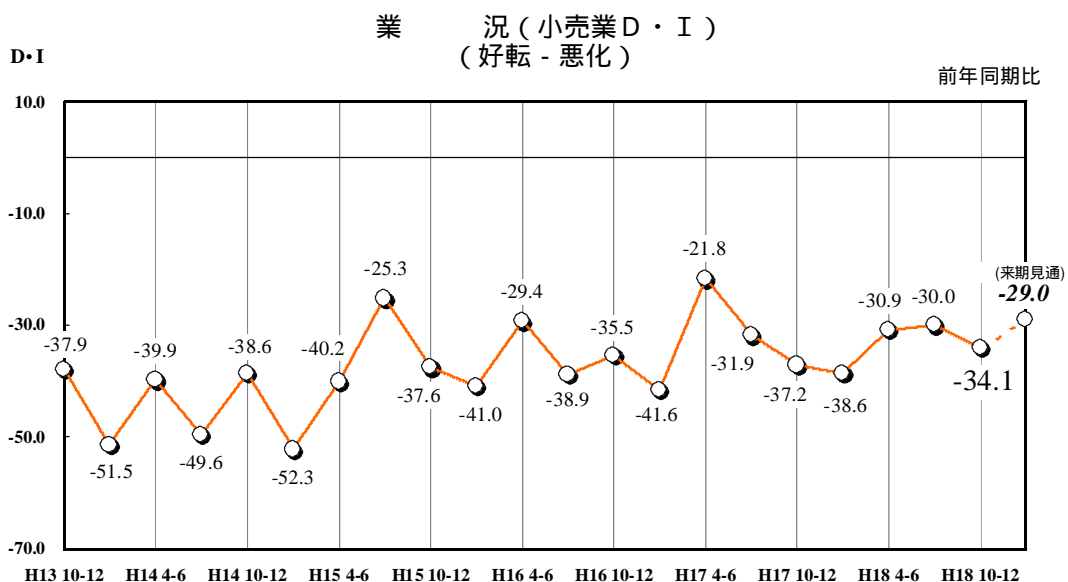
## 経営上の問題点

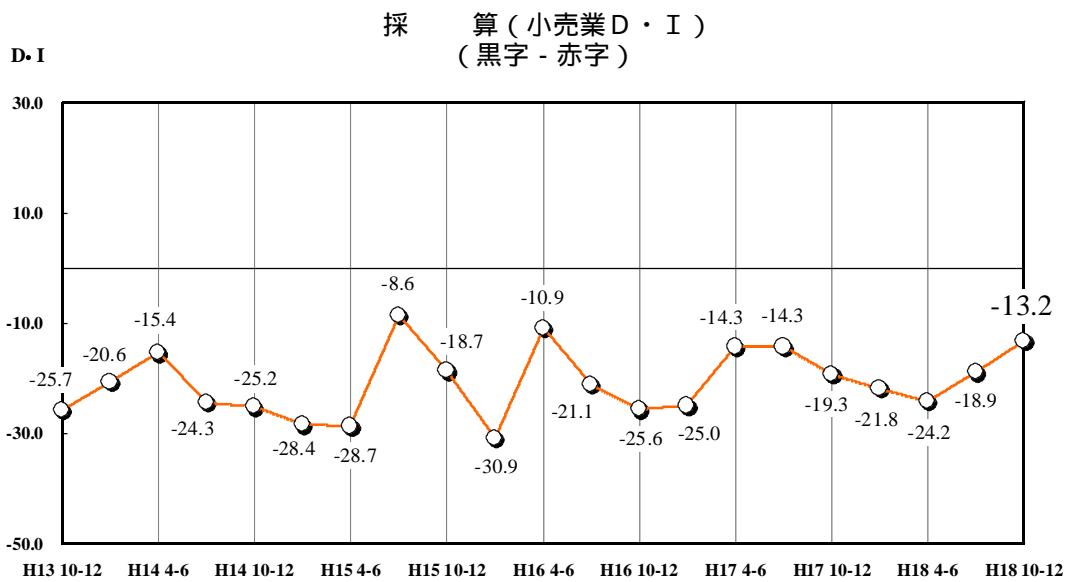
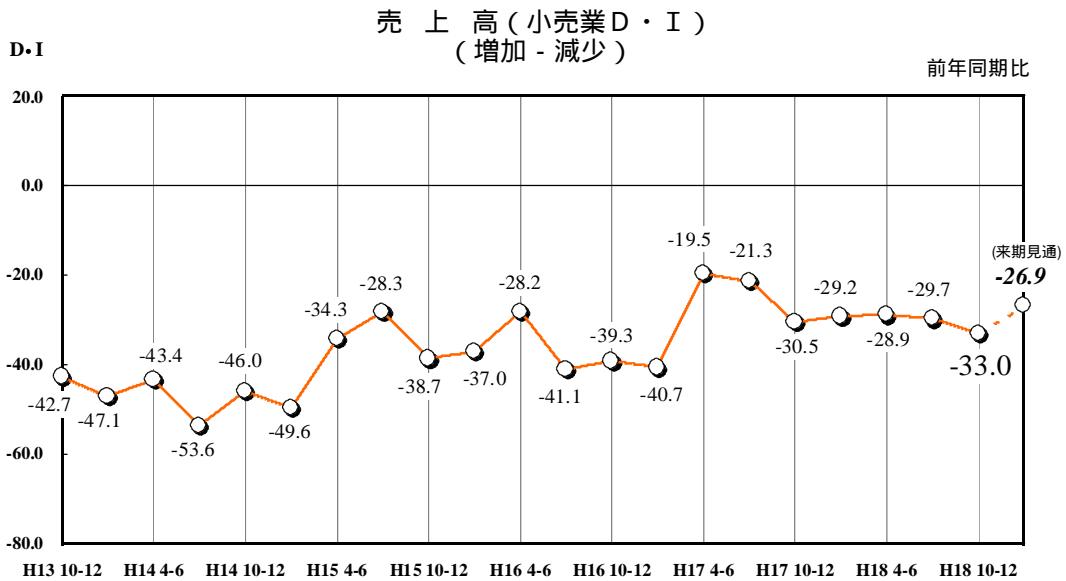


## その他（D・I値）

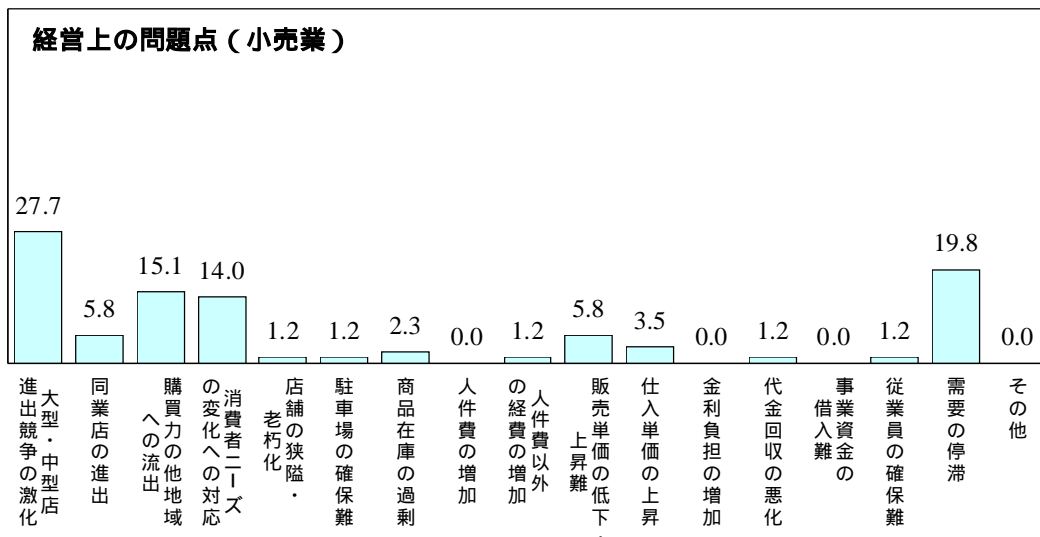
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	14.3	4.8	16.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.3	5.2 (今期比)
短期 "	-----	3.9	2.7 (今期比)
商品在庫数量	10.7	-----	16.9 (前年同期比)

## (4) 小 売 業





## 経営上の問題点

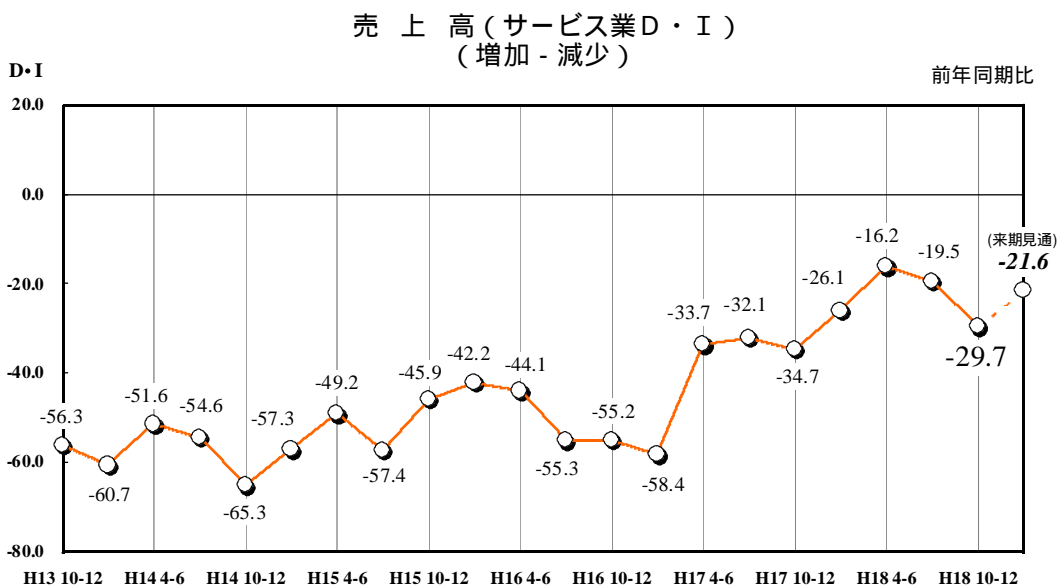
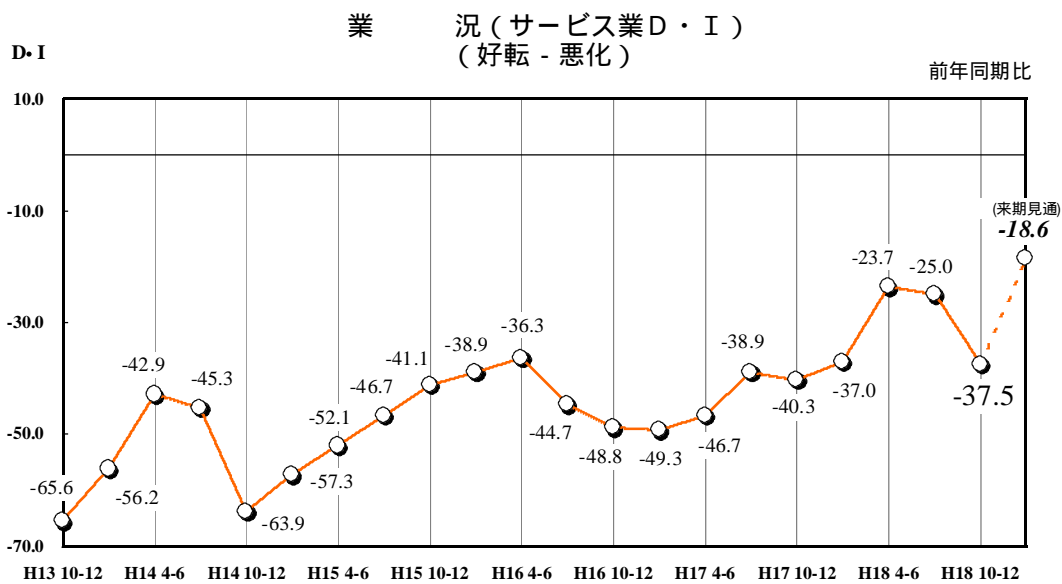




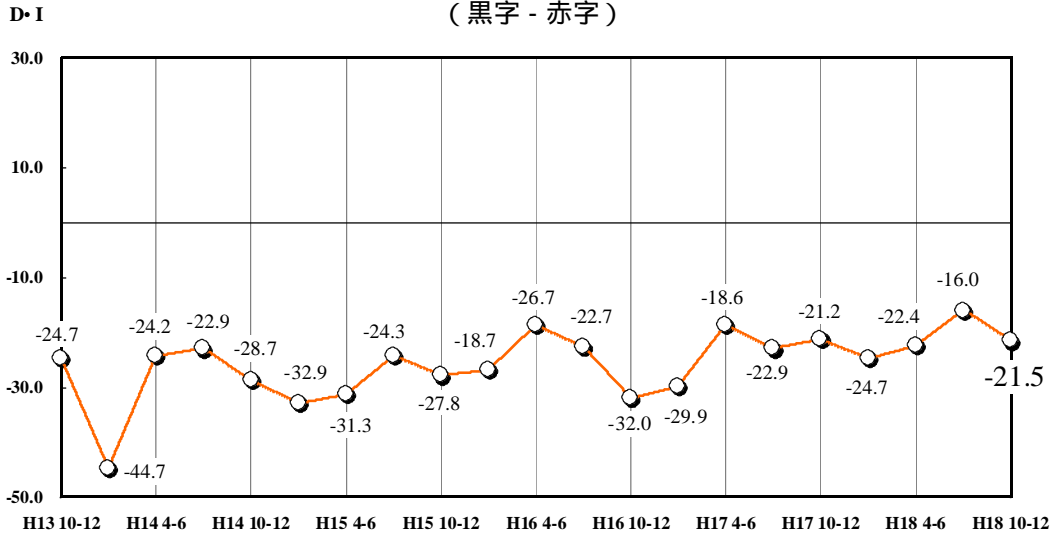
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	23.4	14.1	16.3 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	9.5	8.5 (今期比)
短期 〃	-----	5.2	4.1 (今期比)
商品在庫数量	24.5	-----	23.6 (前年同期比)

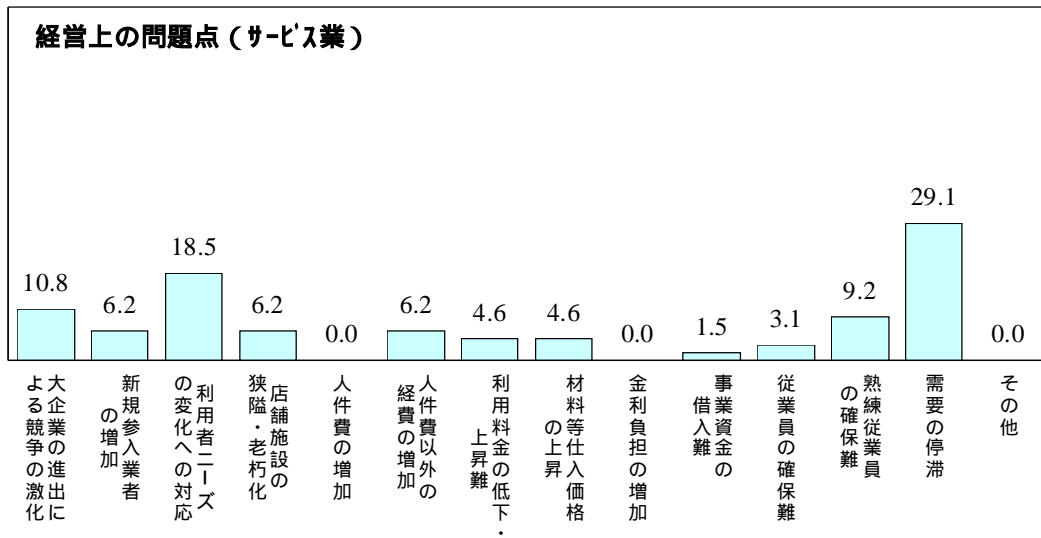
(5) サービス業



採 算 (サービス業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	18.9	23.5	18.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.5	15.8 (今期比)
短期 "	-----	12.0	10.3 (今期比)
利 用 客 数	28.8	36.9	20.5 (前年同期比)

# 業種別調査資料

## 1. 製造業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区分	今期(平成18年10月～12月)の水準			
	↗	↘	↖	D・I
業況(自社)	15.3	42.3	42.4	-27.1
生産に対する原材料在庫	9.3	88.8	1.9	7.4
売上に対する製品在庫	3.9	94.1	2.0	1.9
採算(経常利益)	16.7	63.3	20.0	-3.3
引合	11.7	45.0	43.3	-31.6
生産設備	8.3	85.0	6.7	1.6
従業員(含臨時・パート)	8.5	83.0	8.5	0.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 ↘ : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↖ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成17年10月～12月)に比べて				前期(平成18年7月～9月)に比べて				前年同期(平成18年1月～3月)と比べた 来期(平成19年1月～3月)の見通し			
	↗	↘	↖	D・I	↗	↘	↖	D・I	↗	↘	↖	D・I
A 売上(加工)額	16.7	35.0	48.3	-31.6	23.3	40.0	36.7	-13.4	10.3	50.0	39.7	-29.4
B 売上(加工)単価	11.7	58.3	30.0	-18.3	8.3	70.0	21.7	-13.4	6.9	63.8	29.3	-22.4
C 売上(加工)数量	15.5	32.8	51.7	-36.2	22.4	39.7	37.9	-15.5	10.7	48.2	41.1	-30.4
D 資金繰り	1.7	66.1	32.2	-30.5	3.3	65.0	31.7	-28.4	3.4	65.6	31.0	-27.6
E 輸出入額	33.3	55.6	11.1	22.2					20.0	60.0	20.0	0.0
F 原材料仕入単価	60.7	37.7	1.6	59.1					48.2	48.2	3.6	44.6
G 原材料在庫数量	3.6	74.6	21.8	-18.2					3.8	75.4	20.8	-17.0
H 製品在庫数量	3.8	77.0	19.2	-15.4					4.1	69.4	26.5	-22.4
I 採算(経常利益)	11.5	45.9	42.6	-31.1					6.9	65.5	27.6	-20.7
J 従業員(含臨時・パート)	13.3	68.4	18.3	-5.0					5.3	78.9	15.8	-10.5
K 外部人材(請負・派遣)	14.3	77.1	8.6	5.7					5.7	85.7	8.6	-2.9
L 設備操業率	15.3	50.8	33.9	-18.6					10.7	58.9	30.4	-19.7
M 引合	15.5	44.8	39.7	-24.2								
N 受注残	5.2	58.6	36.2	-31.0								
O 業況(自社)	11.9	50.8	37.3	-25.4	19.3	50.9	29.8	-10.5	9.6	55.8	34.6	-25.0
									今期(平成18年10月～12月)と比べた 来期(平成19年1月～3月)の見通し			
P 受取手形期間					4.4	95.6	0.0	4.4	2.2	93.5	4.3	-2.1
Q 長期資金借入難度					3.6	82.1	14.3	-10.7	1.8	77.1	21.1	-19.3
R 短期資金借入難度(含手形割引)					7.1	84.0	8.9	-1.8	5.3	82.4	12.3	-7.0
S 借入金					38.2	60.0	1.8	36.4	30.4	64.2	5.4	25.0

↗ : 増加      ↗ : 上昇      ↗ : 好転      ↗ : 長期化      ↗ : 容易  
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N)      - : 不変(B, F, L, S)      - : 不変(D, I, O)      - : 不変(P)      - : 不変(Q, R)  
 ↘ : 減少      ↘ : 低下      ↘ : 悪化      ↘ : 短期化      ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区分	実施・計画している									実施・計画していない
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	27.9	0.0	0.0	52.9	17.6	5.9	29.4	0.0	5.9	72.1
来期	8.5	20.0	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	91.5

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	7.4	11.1
新規参入業者の増加	0.0	3.7
製品ニーズの変化への対応	9.3	27.8
生産設備の不足・老朽化	1.9	13.0
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	29.6	53.7
原材料の不足	0.0	1.9
人件費の増加	3.7	14.8
原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	13.0
製品(加工)単価の低下・上昇難	11.1	48.1
金利負担の増加	0.0	1.9
取引条件の悪化	1.9	14.8
事業資金の借入難	0.0	1.9
従業員の確保難	0.0	3.7
熟練技術者の確保難	0.0	3.7
需要の停滞	35.1	59.3
その他	0.0	0.0

## 2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期 (平成18年10月～12月) の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況 (自 社)	4.2	62.0	33.8	-29.6
採 算 (経常利益)	16.9	70.4	12.7	4.2
引 合 計	3.1	65.6	31.3	-28.2
従 業 員 (含臨時・パート)	2.9	86.8	10.3	-7.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ふつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年10月～12月)に比べて				前期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前年同期(平成18年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成19年 1月～ 3月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 完成工事(請負工事)額	12.5	52.8	34.7	-22.2	18.3	52.1	29.6	-11.3	11.4	52.9	35.7	-24.3
B 資 金 繰 り	5.6	76.1	18.3	-12.7	2.9	81.4	15.7	-12.8	7.2	71.1	21.7	-14.5
C 受注(新規契約工事)額	11.3	47.9	40.8	-29.5					14.3	44.3	41.4	-27.1
D 材 料 仕 入 単 価	48.6	51.4	0.0	48.6					33.3	66.7	0.0	33.3
E 採 算 (経常利益)	5.6	55.0	39.4	-33.8					2.9	61.4	35.7	-32.8
F 従業員(含臨時・パート)	7.1	74.3	18.6	-11.5					5.8	78.3	15.9	-10.1
G 外部人材(請負・派遣)	9.8	77.1	13.1	-3.3					6.7	80.0	13.3	-6.6
H 引 合 計	6.2	56.9	36.9	-30.7								
I 契約残(未消化工事高)	3.0	56.7	40.3	-37.3								
	6.9	58.4	34.7	-27.8	5.6	66.6	27.8	-22.2	3.1	69.2	27.7	-24.6
J 業 況 (自 社)	前年同期(平成17年10月～12月)に比べて				前期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				今 期(平成18年10月～12月)と比べた 来 期(平成19年 1月～ 3月)の見通し			
									2.8	63.9	33.3	-30.5
K 受 取 手 形 期 間					5.4	94.6	0.0	5.4	1.8	98.2	0.0	1.8
L 長 期 資 金 借 入 難 度					7.5	82.1	10.4	-2.9	3.0	86.6	10.4	-7.4
M 短期資金借入難度(含手形割引)					6.3	85.9	7.8	-1.5	3.1	87.5	9.4	-6.3
N 借 入 金 利					36.5	60.3	3.2	33.3	18.5	80.0	1.5	17.0

↗ : 増加  
 - : 不変 (A, C, F, G, H, I)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変 (D, N)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変 (B, E, J)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 長期化  
 - : 不変 (K)  
 ↘ : 短期化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変 (L, M)  
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	11.1	25.0	12.5	0.0	25.0	12.5	50.0	0.0	12.5	88.9
来 期	6.9	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	93.1

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	7.9	17.5
新規参入業者の増加	1.6	12.7
材料単価の上昇	7.9	27.0
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	1.6	6.3
材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	9.5
請負単価の低下・上昇難	33.3	63.5
下請単価の上昇	0.0	3.2
金利負担の増加	0.0	4.8
取引条件の悪化	3.2	23.8
事業資金の借入難	3.2	6.3
従業員の確保難	0.0	1.6
熟練技術者の確保難	0.0	4.8
下請業者の確保難	1.6	1.6
官公需要の停滞	23.8	49.2
民間需要の停滞	15.9	47.6
そ の 他	0.0	1.6

### 3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成18年10月～12月)の水準			
				D・I
業 況(自 社)	9.5	42.9	47.6	-38.1
売 上 に 対 す る 商 品 在 庫	26.2	69.0	4.8	21.4
採 算(経常利益)	19.0	66.7	14.3	4.7
引 合	4.8	53.0	42.2	-37.4
従 業 員(含臨時・パート)	3.6	89.2	7.2	-3.6

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ふつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年10月～12月)に比べて				前期(平成18年 7月～ 9月)に比べて				前年同期(平成18年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成19年 1月～ 3月)の見通し			
				D・I				D・I				D・I
A 売 上 額	16.7	39.3	44.0	-27.3	34.9	43.4	21.7	13.2	9.6	48.2	42.2	-32.6
B 売 上 単 価	17.9	61.9	20.2	-2.3	16.9	69.8	13.3	3.6	10.8	74.7	14.5	-3.7
C 資 金 繰 り	2.4	80.9	16.7	-14.3	7.2	80.8	12.0	-4.8	1.2	80.7	18.1	-16.9
D 商 品 仕 入 単 価	33.3	57.2	9.5	23.8					26.8	68.3	4.9	21.9
E 商 品 仕 入 数 量	15.5	48.8	35.7	-20.2					10.8	54.3	34.9	-24.1
F 商 品 在 庫 数 量	15.5	58.3	26.2	-10.7					10.8	61.5	27.7	-16.9
G 採 算(経常利益)	8.3	58.4	33.3	-25.0					4.8	66.3	28.9	-24.1
H 従 業 員(含臨時・パート)	3.8	81.2	15.0	-11.2					5.1	86.0	8.9	-3.8
I 外 部 人 材(請負・派遣)	7.0	89.5	3.5	3.5					0.0	91.5	8.5	-8.5
J 引 合	13.4	46.4	40.2	-26.8								
K 業 況(自 社)	10.7	51.2	38.1	-27.4	15.9	60.9	23.2	-7.3	8.8	59.9	31.3	-22.5
L 受 取 手 形 期 間					0.0	98.6	1.4	-1.4	0.0	98.6	1.4	-1.4
M 長 期 資 金 借 入 難 度					6.3	86.1	7.6	-1.3	5.2	84.4	10.4	-5.2
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					9.1	85.7	5.2	3.9	8.0	86.7	5.3	2.7
O 借 入 金 利					32.5	65.0	2.5	30.0	29.5	69.2	1.3	28.2

↗ : 増加      ↗ : 上昇      ↗ : 好転      ↗ : 長期化      ↗ : 容易  
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)      - : 不変(B, D, O)      - : 不変(C, G, K)      - : 不変(L)      - : 不変(M, N)  
 ↘ : 減少      ↘ : 低下      ↘ : 悪化      ↘ : 短期化      ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	11.9	10.0	30.0	10.0	30.0	0.0	40.0	0.0	10.0	88.1
来 期	7.2	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	33.3	92.8

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	7.9	9.3
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	3.9	8.0
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	3.9	9.3
新 規 参 入 業 者 の 増 加	0.0	8.0
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	1.3	5.3
商 品 在 庫 の 過 剰	3.9	8.0
人 件 費 の 増 加	0.0	2.7
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	0.0	22.7
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	9.2	48.0
仕 入 単 価 の 上 昇	14.6	30.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	9.3
代 金 回 収 の 悪 化	3.9	21.3
事 業 資 金 の 借 入 難	3.9	9.3
従 業 員 の 確 保 難	2.6	4.0
需 要 の 停 滞	43.6	66.7
そ の 他	1.3	4.0

## 4.小 売 業

### (1) 今期の水準

(単位: %)

区 分	今 期 (平成18年10月~12月) の水準			
	↗	↘	↘	D・I
業 況 (自 社)	5.6	40.0	54.4	-48.8
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	16.5	73.6	9.9	6.6
採 算 (経 常 利 益)	13.2	60.4	26.4	-13.2
従 業 員 (含 臨 時・ハート)	6.8	88.7	4.5	2.3

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ふつう、適正、収支トントン  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

### (2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年10月~12月)に比べて				前期(平成18年 7月~ 9月)に比べて				前年同期(平成18年 1月~ 3月)と比べた 来 期(平成19年 1月~ 3月)の見通し			
	↗	↘	↘	D・I	↗	↘	↘	D・I	↗	↘	↘	D・I
A 売 上 額	14.9	37.2	47.9	-33.0	21.5	37.6	40.9	-19.4	8.6	55.9	35.5	-26.9
B 客 単 価	11.7	52.1	36.2	-24.5	17.4	48.9	33.7	-16.3	8.6	61.3	30.1	-21.5
C 客 数	10.8	40.9	48.3	-37.5	15.4	45.0	39.6	-24.2	9.8	53.2	37.0	-27.2
D 資 金 繰 り	5.3	66.0	28.7	-23.4	9.8	66.3	23.9	-14.1	3.3	77.1	19.6	-16.3
E 商 品 仕 入 単 価	14.1	63.1	22.8	-8.7					11.0	75.8	13.2	-2.2
F 商 品 仕 入 額	16.3	39.1	44.6	-28.3					13.2	57.1	29.7	-16.5
G 商 品 在 庫 数 量	6.4	62.7	30.9	-24.5					2.2	72.0	25.8	-23.6
H 採 算 (経 常 利 益)	7.6	47.8	44.6	-37.0					3.3	63.7	33.0	-29.7
I 従 業 員 (含 臨 時・ハート)	1.1	84.5	14.4	-13.3					0.0	88.8	11.2	-11.2
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	0.0	91.9	8.1	-8.1					1.6	91.9	6.5	-4.9
K 業 況 (自 社)	8.5	48.9	42.6	-34.1	12.5	48.9	38.6	-26.1	5.4	60.2	34.4	-29.0
	前年同期(平成17年10月~12月)に比べて				前期(平成18年 7月~ 9月)に比べて				今 期 (平成18年10月~12月)と比べた 来 期(平成19年 1月~ 3月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					3.6	83.3	13.1	-9.5	4.9	81.7	13.4	-8.5
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					5.3	84.2	10.5	-5.2	5.4	85.1	9.5	-4.1
N 借 入 金 利					22.6	75.0	2.4	20.2	19.5	76.8	3.7	15.8

↗ : 増加  
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)  
 ↘ : 減少  
 ↗ : 上昇  
 - : 不変 (B, E, N)  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 - : 不変 (D, H, K)  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 容易  
 - : 不変 (L, M)  
 ↘ : 困難

### (3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 設 施	O A 機 器	福 利 厚 生 設 施	そ の 他	
今 期	6.5	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	16.7	93.5
来 期	8.8	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0	91.2

### (4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1~3 位
大・中型店の進出による競争の激化	27.7	45.3
同業者の進出	5.8	15.1
購買力の他地域への流出	15.1	29.1
消費者ニーズの変化への対応	14.0	36.0
店舗の狭隘・老朽化	1.2	5.8
駐車場の確保難	1.2	7.0
商品在庫の過剰	2.3	7.0
人件費の増加	0.0	3.5
人件費以外の経費の増加	1.2	8.1
販売単価の低下・上昇難	5.8	33.7
仕入単価の上昇	3.5	7.0
金利負担の増加	0.0	4.7
代金回収の悪化	1.2	5.8
事業資金の借入難	0.0	5.8
従業員の確保難	1.2	3.5
需要の停滞	19.8	52.3
その他	0.0	2.3

## 5. サービス業

### (1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期 (平成18年10月～12月) の水準			D・I
	↑		↓	
業 況 (自 社)	8.7	46.4	44.9	-36.2
採 算 (経常利益)	11.4	55.7	32.9	-21.5
従 業 員 (含臨時・パート)	6.3	82.8	10.9	-4.6

↑ : 良い、過剰、黒字、活発  
 - : ぶつう、適正、収支トントン  
 ↓ : 悪い、不足、赤字、低調

### (2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成17年10月～12月)に比べて				前期(平成18年7月～9月)に比べて				前年同期(平成18年1月～3月)と比べた 来 期(平成19年1月～3月)の見通し			
	↑		↓	D・I	↑		↓	D・I	↑		↓	D・I
A 売 上 ( 収 入 ) 額	17.6	35.1	47.3	-29.7	16.2	39.2	44.6	-28.4	16.2	46.0	37.8	-21.6
B 客 単 価	2.7	67.2	30.1	-27.4	6.9	61.2	31.9	-25.0	1.4	72.6	26.0	-24.6
C 利 用 客 数	13.7	43.8	42.5	-28.8	11.0	41.1	47.9	-36.9	15.1	49.3	35.6	-20.5
D 資 金 繰 り	7.2	66.7	26.1	-18.9	4.4	67.7	27.9	-23.5	7.2	66.7	26.1	-18.9
E 仕 入 単 価 ( 材 料 等 )	33.8	60.6	5.6	28.2					25.7	68.6	5.7	20.0
F 採 算 ( 経 常 利 益 )	8.1	50.0	41.9	-33.8					9.5	54.0	36.5	-27.0
G 従 業 員 ( 含 臨 時 ・ パ ー ト )	3.0	82.1	14.9	-11.9					6.1	78.7	15.2	-9.1
H 外 部 人 材 ( 請 負 ・ 派 遣 )	6.7	84.4	8.9	-2.2					8.9	82.2	8.9	0.0
I 業 況 ( 自 社 )	6.9	48.7	44.4	-37.5	10.8	41.5	47.7	-36.9	14.3	52.8	32.9	-18.6
L 長 期 資 金 借 入 難 度					6.3	74.9	18.8	-12.5	15.5	50.7	33.8	-18.3
M 短 期 資 金 借 入 難 度 ( 含 手 形 割 引 )					5.2	77.6	17.2	-12.0	5.2	79.3	15.5	-10.3
N 借 入 金 利					23.8	73.0	3.2	20.6	25.0	70.3	4.7	20.3

↑ : 増加  
 - : 不変 (A, C, G, H)  
 ↓ : 減少  
 ↑ : 上昇  
 - : 不変 (B, E, N)  
 ↓ : 低下  
 ↑ : 好転  
 - : 不変 (D, F, I)  
 ↓ : 悪化  
 ↑ : 容易  
 - : 不変 (L, M)  
 ↓ : 困難

### (3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実 施 ・ 計 画 して いる	実 施 ・ 計 画 して いない								
		土 地	建 物	サ ー ビ ス 設 備	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	17.6	0.0	15.4	15.4	38.5	23.1	23.1	0.0	7.7	82.4
来 期	10.8	12.5	25.0	25.0	50.0	12.5	12.5	0.0	12.5	89.2

### (4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	10.8	21.5
新 規 参 入 業 者 の 増 加	6.2	20.0
利 用 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	18.5	43.1
店 舗 施 設 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	6.2	13.8
人 件 費 の 増 加	0.0	12.3
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	6.2	23.1
利 用 料 金 の 低 下 ・ 上 昇 難	4.6	23.1
材 料 等 仕 入 単 価 の 上 昇	4.6	13.8
金 利 負 担 の 増 加	0.0	3.1
事 業 資 金 の 借 入 難	1.5	4.6
従 業 員 の 確 保 難	3.1	10.8
熟 練 従 業 員 の 確 保 難	9.2	16.9
需 要 の 停 滞	29.1	55.4
そ の 他	0.0	0.0